



自由に
生きるとは、
なんだ。

美容・リトルプレスご担当者さま

ニューヨークで「髪」ばかり見ていた7日間の軌跡。 今、ニューヨークの髪と美容師がおもしろい！

美容文藝誌「髪とアタシ」2年半ぶりの大リニューアル！伝説の美容師・須賀勇介の甥っ子への独占インタビュー、NY現地サロンに直撃インタビュー、佐久間裕美子が考える「自由」ってなんだ？など内容盛りだくさん！

(序文より)

自由に生きるとは、なんだ。

1960年代ニューヨーク。まだ日本人美容師がほとんどいなかったアメリカで、ひとりの日本人美容師が成功をおさめていた。

須賀勇介。彼は日本の美容界に多大なる影響を与えた伝説的美容師。ケネディ元大統領夫人ジャクリーヌ・ケネディ・オナシス、フェイ・ダナウェイ、ダイアナ・ロス。ドロシー・ハミルの「ハミルカット」、黒柳徹子の「たまねぎヘア」、写真家のリチャード・アヴェドン、アーヴィング・ペン。彼の顧客や仕事をともにした名前を見るだけで、日本人として嬉しくなる。須賀勇介が渡米したのは1966年。黒人の公民権運動が盛んに行われ、1970年代はニューヨークの治安と社会状況は最悪の時代。人種差別も色濃くあったこの時代に、須賀はなぜ成功できたのか。日本美容界において、須賀勇介のような人はもう現れないと言われている。48歳で亡くなった彼の功績は、数少ない著書や当時の美容雑誌からしか見受けられない。自由の国アメリカで、須賀は当時なにを想ったのだろう。彼のことを想像すればするほど、彼に会いたくなった。美容師のアイデンティティが年々薄れていく中で、これほどまでに美容師を愛し、ヘアスタイルの美しさを探求し続けた人はいない。須賀勇介が活躍したニューヨークに、美容師としての生き方や働き方のヒントが今あるのではないか。

美しさとはなにか、自由に生きるとはなんだ。人種の坩堝と言われるニューヨークで、髪だけを追い求めた7日間の旅。

FA
X 03-3294-2177

アタシ社の本は全ての取次【日販・トーハン・日教販・大阪屋栗田など】より仕入れが可能です。JRCが一括してまとめて管理し、仕入れ・発送を代行します。返本もいつもお使いの取次にお返しください。

貴店番線印	ご注文数	合同会社アタシ社	美容/ファッション/文芸
		美容文藝誌 髪とアタシ 第6刊 自由に生きるとは、なんだ B5判 / 128項フルカラー / 定価 1,500+ 税 ISBN978-4-909713-03-2 C0090 2019年8月31日(月)発売	
ご担当	様	アタシ社 担当/ミネシゴ、三根かよこ ホームページ: http://www.atashisya.com/ 〒238-0233 神奈川県三浦市向ヶ崎町 1-1 緊急 TEL:09072137104	